

●東京都→みどり市

金井 聡さん：ほぼ U ターン (桐生出身) / セカンドライフ (定年帰農)

Q 移住のきっかけは？

桐生市で生まれ、大学進学から東京で暮らしてきましたが、体験農園（東京都小平市）に参加し農業に魅力を感じて農業が出来る所に移住したいと思いました。桐生生まれで実家で母が一人暮らしをしていたので、移住するのであれば桐生の近くでと考え、最初に銀座にあった「ぐんまちゃん家」で相談しました。そこで、「桐生で農業をするなら黒保根が良いのでは？」と言われ、現地を訪れましたが、希望していた環境より、街から遠すぎたので断念しました。

Q みどり市を選んだ理由は？

新規就農準備校で実地研修の際に紹介された、大間々の農家さんから現在の農地、土地を紹介してもらいました。桐生からも近く、街と自然の距離感も気に入り、2016年に購入しました。移住する前に家を新築し、しばらくは平日は東京、週末は群馬での2拠点生活をして、2020年定年退職のタイミングで移住をしました。



Q 移住前と移住後で変わったことは？

同じ通勤でも通勤ラッシュの片道1時間強の「苦痛な時間」が、のどかな風景のなか、徒歩数分でアルバイト先に行ける「楽しい時間」に変わりました。定年退職が、新型コロナの1回目の緊急事態宣言の時だったので、「都会の密」から「疎の地域」に来たとも実感しました。

Q みどり市に移住して良かったことは？

東京では持つことが不可能なぐらいの広い土地を確保し、畑で楽しむことが出来ていることは移住して良かったと感じていることですが、その一方で車がないと生活が出来ない点は都会と比べると不便に感じています。また、まだまだ被害を受けていないですが、獣害が増えていることが懸念材料です。今後も畑仕事を中心に暮らしていこうと思っていますが、町との関わりなども出来てきたので、町の活性化などにも参加していきたいと思っています。具体的には、まちなかの店舗をより多く開けることが出来たらと考えています。



ここが大変だった！

農地を購入する際、今よりも広い土地を所有しなければ、購入がでぎず大変でした。また、移住を考え始めた当初はどこに相談に行けば良いか分かりませんでした。



Message ～みどり市へ移住を考えている方へ～

私が農地を探していた頃は支援制度などもまだまだあまりなく苦勞をしましたが、最近は支援制度も充実してきているので、ぜひチャレンジしてみてください。私が住んでいる大間々は町と自然の距離が近いところで、宿場町としての歴史も古く、魅力的な町です。